

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農林水産部 農林水産局 農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 常友永市 (主幹兼田園空間係長 新見 明)	内線	3931 (4028)
------	-------------------------	---------------------	-----------------------------	----	----------------

事業種目	農村総合整備	事業名	事業区間	総事業費	約9億円
		農村振興総合整備統合補助事業 (むらづくり基盤型)	黒田庄地区	内用地補償費	0.32億円
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度
多可郡黒田庄町全域				H17	H17
事業目的			事業内容		
町の農村振興基本計画に謳われている「美しい農村景観の保全整備」や「にぎわいのある交流空間づくり」を推進するため、住民の主体的な参画による景観整備を行うとともに、用排水路等の農業生産基盤の整備と住民の交流を図る農村生活環境の整備等を総合的に実施する。 事業主体：黒田庄町			農業生産基盤 用排水路 3.3km [国 50%, 県 12%, 町 27%, 地元 11%] 環境施設(生産基盤) 農業集落道 2.2km、農業集落排水路 1.9km 獣害防護柵 1.3km [国 50%, 県 6%, 町 31%, 地元 13%] 環境施設(生活改善) ため池修整整備 1か所 農村交流広場 1か所 [国 50%, 県 3%, 町 33%, 地元 14%]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	当地域では、平成10年度から行われた田園空間整備事業により、地元住民が主体となって地域づくりに取り組む活動が広がり始めている。当事業における直営施工による景観整備や修景・交流施設整備を通じて、これらの活動をより一層進め地域の活性化を図る必要がある。また、昭和50年代に造られ老朽化した農業施設の改修や獣害防止対策により、快適な農村空間を創造する必要がある。				
(2)有効性・効率性	直営施工によりコスト縮減が図られるほか、農村交流広場等の整備により集落のコミュニティ醸成が図られる。また、用排水路等の改修によって、維持管理の節減及び排水改良等による生産性向上が見込まれる。 当地区の費用便益比B/Cは1.28で、事業効果が十分期待できる。				
(3)環境適合性	既存の農業施設改修と併せて景観整備も行うなど、地域環境に配慮している。				
(4)優先性	地元住民の主体的な活動が広がりを見せており、これを機に住民参加による景観整備等を通じて活力あるむらづくりを進める。また、維持管理が困難となった老朽化水路の早期改修、獣害防止対策による早期被害軽減など、総合的整備が急がれる。				